

資料 1 関係法令など

I 農薬取締法(昭和23年7月1日 法律第82号)概略

最終改正 令和2年12月1日 法律第62号

目的・定義 (第1から2条)

農薬について登録の制度を設け、販売及び使用の規制等を行なうことにより、農薬の安全性その他の品質及びその安全かつ適正な使用の確保を図り、もって農業生産の安定と国民の健康の保護に資するとともに、国民の生活環境の保全に寄与することを目的とする。

農薬とは、農作物を害する病虫害の防除に用いられる殺菌剤、殺虫剤、除草剤その他の薬剤、及び成長促進剤、発芽抑制剤その他の薬剤である。

農薬の登録 (第3条)

製造者、輸入者による無登録農薬の製造、加工、輸入の禁止(特定農薬※を除く)。

※) 特定農薬…その原材料に照らし、農作物等、人畜及び水産動植物に害を及ぼすおそれがないことが明らかなものとして農林水産大臣及び環境大臣が指定する農薬。現在、「エチレン」、「次亜塩素酸水(塩酸又は塩化カリウム水溶液を電気分解して得られたものに限る)」、「重曹」、「食酢」、及び「使用される場所の周辺で採取された天敵(昆虫綱及びクモ綱に属する動物)」の5種類を指定している。

農薬の表示 (第16条)

製造者又は輸入者は、農薬の容器(包装)に次の事項を表示しなければならない。

- ・登録番号
- ・登録に係る農薬の種類、名称、物理的・化学的性状並びに有効成分とその他の成分との別にその各成分の種類及び含有濃度
- ・内容量
- ・登録に係る適用病虫害の範囲及び使用方法
- ・水質汚濁性農薬は、「水質汚濁性農薬」という文字
- ・人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法
- ・水産動植物に有毒な農薬については、その旨
- ・引火し、爆発し、又は皮膚を害する等の危険のある農薬については、その旨
- ・農薬の貯蔵上又は使用上の注意事項
- ・農薬の製造場の名称及び所在地
- ・最終有効年月

農薬販売者等に対する規定 (第17から22条)

- ・販売者の届け出義務
- ・無登録農薬の販売禁止
- ・販売禁止農薬の農林水産大臣から販売者に対する回収命令
- ・販売記録の記帳と保存の義務
- ・虚偽の宣伝禁止
- ・農薬でない除草剤への表示義務(農薬として使用することができない旨の表示)

農薬使用者に対する規定 (第24から27条)

- ・無登録農薬の使用禁止
- ・「農薬を使用する者が遵守すべき基準」の遵守
- ・水質汚濁性農薬の使用規制

罰則 (第47から52条)

この法律に違反した者には、罰金、もしくは懲役の罰則が科せられる。特に、法人の販売等に係る義務違反については最高刑を1億円とする。販売、使用に係る義務違反は3年以下の懲役若しくは100万円以下の罰金とする。